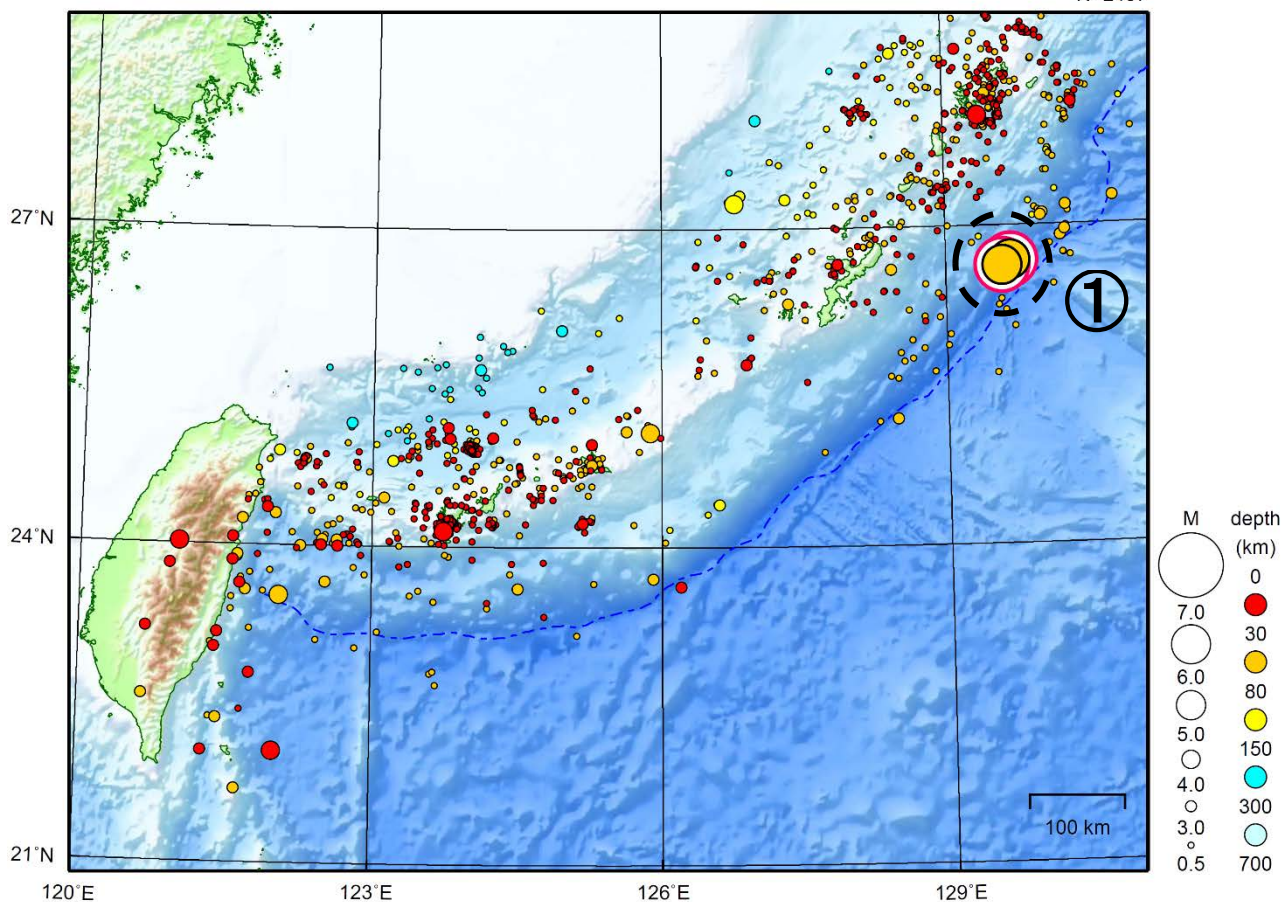


沖縄地方

2018/09/01 00:00 ~ 2018/09/30 24:00

N=2437



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

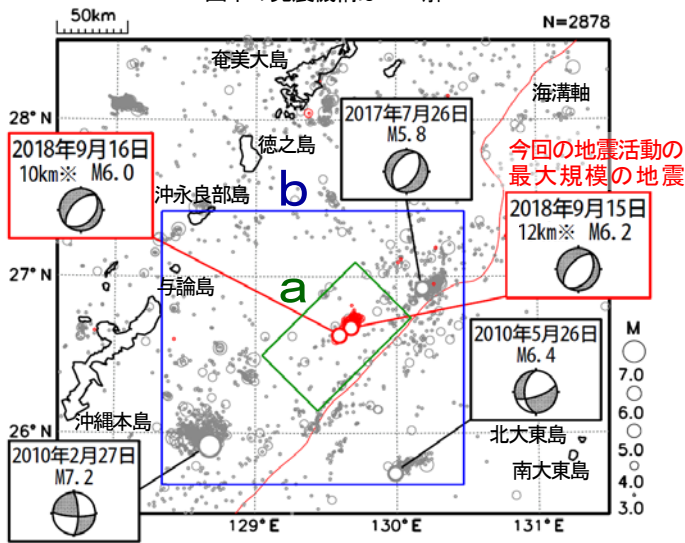
- ① 9月15日から沖縄本島近海で地震活動が活発になり、15日に沖縄本島近海でM6.2の地震(最大震度1)、16日にはM6.0の地震(最大震度2)が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

9月15日からの沖縄本島近海の地震活動

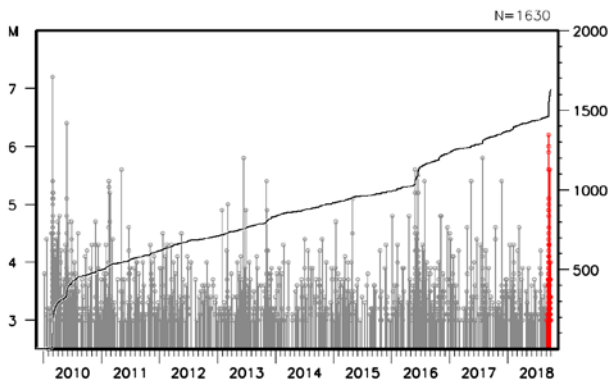
震央分布図

(2010年1月1日～2018年9月30日、
深さ0km～100km、 $M \geq 3.0$)
2018年9月1日以降の地震を赤で表示
図中の発震機構はCMT解



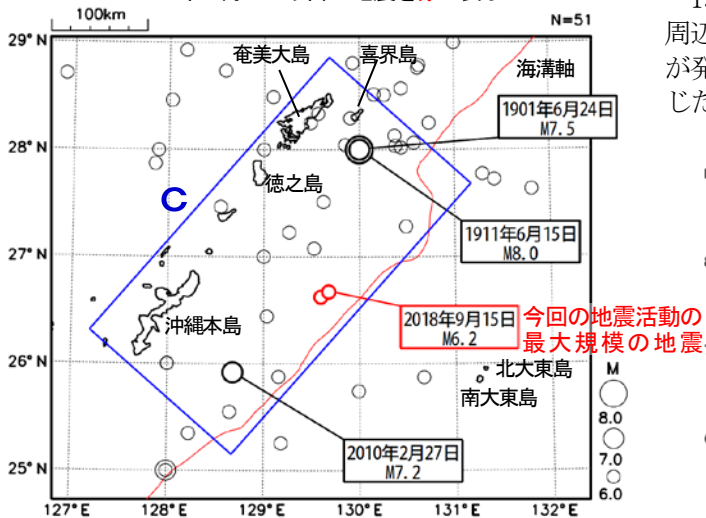
※2018年9月15日、16日の地震の深さはCMT解による

領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図

(1900年1月1日～2018年9月30日、
深さ0km～100km、 $M \geq 6.0$)
2018年9月1日以降の地震を赤で表示

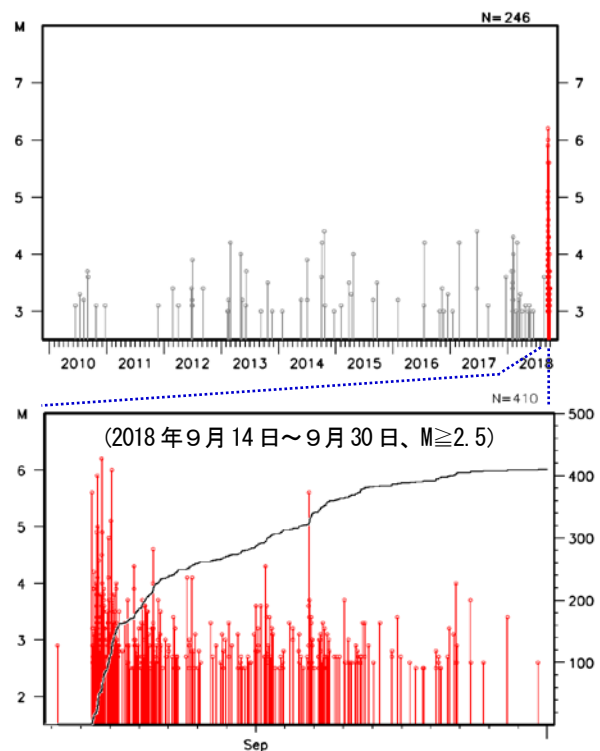


※震源要素は、1900年～1922年は茅野・宇津（2001）、宇津（1982、1985）による

2018年9月15日から沖縄本島近海で地震活動が活発になり、15日17時05分に深さ12km（CMT解による）で最大規模のM6.2の地震（最大震度1）、16日01時24分に深さ10km（CMT解による）でM6.0の地震（最大震度2）が発生するなど、震度1以上を観測する地震が6回発生した。発震機構（CMT解）は、ともに北西-南東方向に張力軸を持つ正断層型であった。地震活動は次第に低下している。

2010年1月以降の活動をみると、今回の地震活動付近（領域a）では、M4程度の地震が時々発生していたが、M5.0以上の地震は今まで発生していなかった。今回の地震活動の周辺（領域b）では、2010年2月27日にM7.2の地震（最大震度5弱）が発生するなど、M5.0以上の地震が時々発生している。

領域a内のM-T図及び回数積算図



1900年1月以降の活動をみると、今回の地震活動の周辺（領域c）では、1911年6月15日にM8.0の地震が発生し、死者7人、住家全潰418棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域c内のM-T図

